

4 試験の方法、配点等

試験の程度は、大学卒業程度で行います。

第1次試験（満点100点）

試験の種類(配点)	試験の内容等	解答時間
教養試験 (100点①) (50点②) *注1	警察官として必要な一般的知識及び能力等について択一式による筆記試験を行います。 出題数 : 50題 出題分野 : 社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、 数的推理・資料解釈 等	2時間30分
実技試験 (50点②) *注2	武道指導者の候補者として必要な柔道又は剣道の技術の習熟度と技量等について実技試験（基本及び試合形式）を行います。	
資格加点	「男性」及び「女性」の受験者で、一定水準以上の語学資格を有する方については、第1次試験において5点を加点します。*注3	

※ 論文試験は、第1次試験日に実施しますが、採点・評価は第2次試験で行います。また、第1次試験日に論文試験を受験しなかった場合は、第1次試験は不合格となります。

*注1 ①「男性」及び「女性」区分
 ②「武道指導」区分

*注2 実技試験は「武道指導」区分のみ実施します。

*注3 資格加点の対象となる方は、次の語学資格を有する方です。（ただし、平成14年5月18日以降に取得したものに限りします。）

英語	実用英語技能検定 1級及び準1級 TOEIC スコア730点以上 TOEFL スコア550点（CBT213点）以上 国際連合公用語英語検定 特A級及びA級
中国語	中国語検定試験 1級、2級及び準2級 中国語コミュニケーション能力検定 スコア550点以上 漢語水平考試 11級、10級、9級、8級、7級及び6級
韓国語	「ハングル」能力検定試験 1級、準1級、2級及び準2級
朝鮮語	韓国語能力試験 6級、5級及び4級

該当する方は、受験申込書に必要事項を記入してください。

また、受験申込書に合格証書あるいはスコアレポートの写し1部を添付してください。

なお、第1次試験当日に合格証書あるいはスコアレポートの原本を持参してください。教養試験の開始時に原本を集め、資格の確認を行います（確認ができない場合は、加点しません。）。

第2次試験（満点150点）

試験の種類(配点)	試験の内容等	解答時間
論文試験 (50点)	警察官として必要な文章による表現力及び論理性などについて記述式による筆記試験（一般的課題）を行います。	1時間30分
身体検査	身長、体重等の測定、胸部疾患、性病（血液検査）等の感染性の疾患の有無及び肝臓、腎臓等の機能について検査（医療機関で受診した身体検査書の提出）を行います。	
体力試験	警察官として職務遂行上必要な体力について試験を行います。 種目：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳び、腕立て伏せ	
面接試験 (100点)	警察官としての適格性等について個別面接による口述試験を行います。 なお、面接試験の参考とするために、適性検査を行います。	